



大村市立福重小学校 学校だより

みどい

令和5年3月2日（木）

文責：校長 田中 康隆

目指す児童像：㊦ るさとを愛する子・㊧ ふうする子・㊨ んせつな子・㊩ んきな子

人参まんじゅうをいただきました

2月13日（月）、6年生は福重地区食生活改善推進委員の皆様より人参まんじゅうをいただきました。一緒にいただいた手紙には、以下のように書いてありました。

「もうすぐ小学校卒業ですね。3年間コロナ対策でできなかったこともあったでしょう。きっとその分、がまん強さや創意工夫する力が身についたのではないのでしょうか。

私達福重地区食生活改善員は、皆様の卒業をお祝いし人参まんじゅうを贈ります。大村特産の黒田五寸人参を使用しました。少しですが食べてください。これからも同じ福重地区の住人として、皆様の幸せを祈っています。」

地域の方々のお気持ちに、感謝するばかりです。



2月の授業風景から

2年生道徳科の時間、「あの日のくつばこで（善悪の判断、自律、自由と責任）」の学習が行われていました。自分が正しいと思ったことを勇気を出して行おうとする気持ちや態度を育てることを目的とした授業です。靴を隠すかすみさん、靴を隠す瞬間を見て後でそっと元の場所に戻したとしおさん、靴を隠す瞬間を見ていろいろ考えるまり子さんの3人の登場人物の立場に立って考え、「よいこと」「よくないこと」を判断する態度へ繋げるものです。

3年生では、長崎県の情報モラル教育教材「SNS ノート・ながさき」を利用して授業が行われていました。メディアとの付き合い方、SNSによるトラブル回避について、学校でも指導をしているところです。登校しぶりやいじめなど、私たちの身近な問題として起きていることと関係が深いからです。学習後の感想には「SNSでは、本当の気持ちが伝わりにくい」「隠れて悪いことを言ったりしたりするのはよくない」という感想も書かれていました。

4年生では、大村市社会福祉協議会から講師をお招きし、車椅子体験学習を行いました。子供たちは、初めて扱う車椅子に苦戦しながら、車椅子に乗る人の気持ちになって様々な思いを持っていました。身のまわりの差別やバリアフリー社会の実現に向けて考えるよい機会になりました。

ご家庭でも、ぜひ話題にいただければと思います。



自分の姿で語れる子供たちに

2月の末、お別れ集会や卒業式練習で子供たちに話す機会がありました。お別れの日が近づいているので、1年生には「もう、一人でも大丈夫」という姿を、5年生には他者を思いやる心、きまりを守り手本になる言動で「任せてね」という姿を、6年生に向けて見せて欲しいと話しました。また、卒業式練習では6年生に向けて、「感謝の気持ち」は言葉と行動で表すように話しました。厳かな雰囲気、緊張に負けないよう、そして最高の卒業式になるよう、これから指導していきます。